

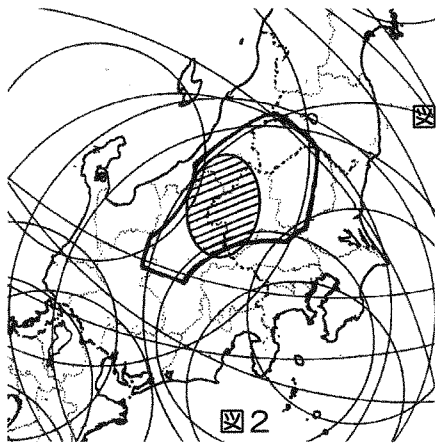
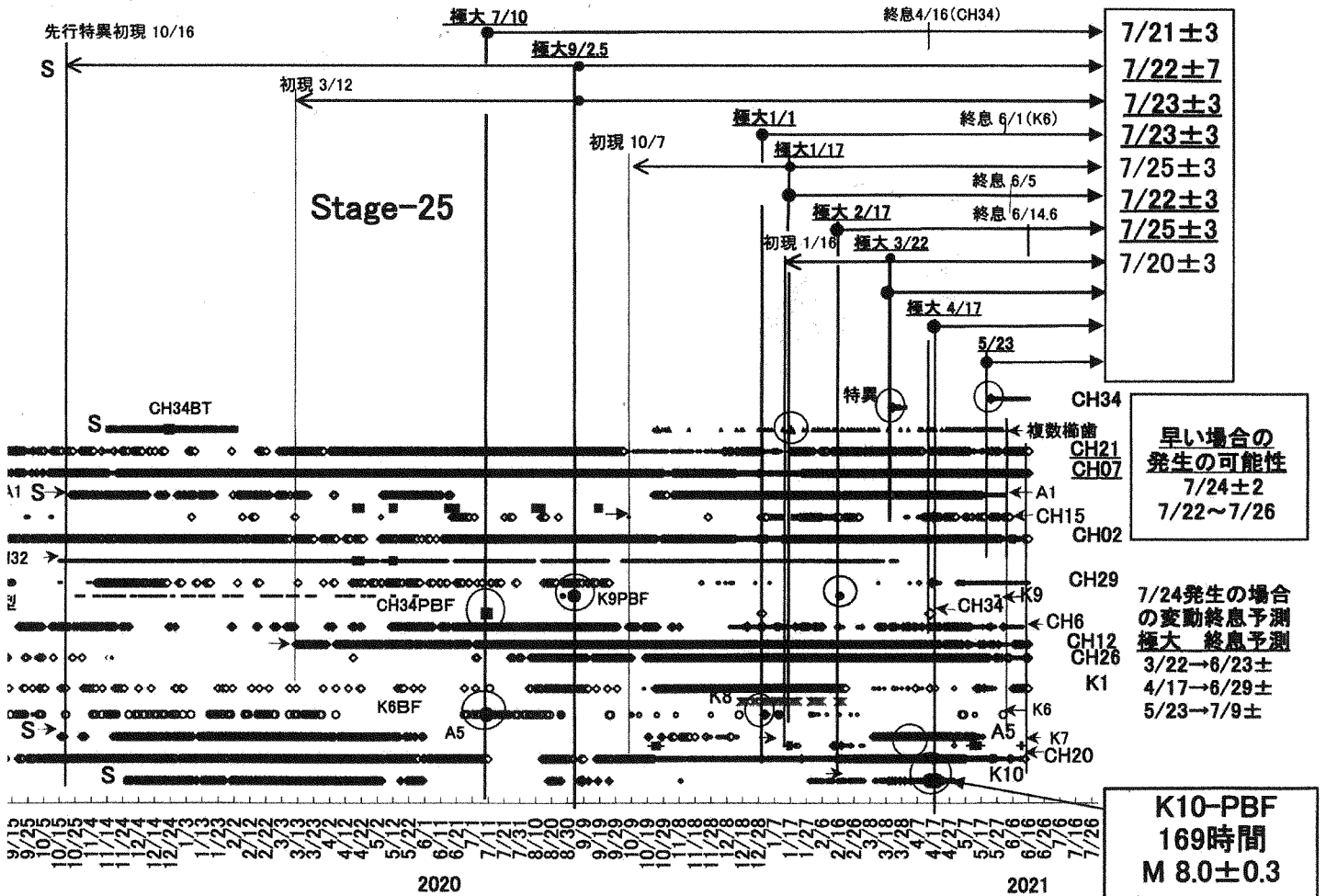
# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

## 続報 No.299

2021.06/16 (水曜) 15:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

### No.1778 続報 継続前兆変動数半減 しかし6月末発生推定では不調和 前兆変動関係見直し 最も早い場合の発生推定時期=7月24日±2の可能性に修正



- ◆推定領域：図2太線領域内・斜線域  
斜線域：浅間山・白根山等火山近傍
- ◆推定規模：M8.0±0.3  
(M7クラス複合の可能性も若干有)
- ◆推定時期：前兆終息後計算予定  
現状最も早い場合 7月24日±2  
否定困難。但し7月上旬までに前兆終息確認が条件。今後の観測で修正
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震  
地震発生に伴い近傍火山活動に変化の可能性も否定困難
- ◇推定発生時刻：  
午前09時30分 ±1 時間30分  
または午後05時 ±3 時間

2008年07月から13年継続する前兆変動過去最長継続のNo.1778前兆は前続報まで早い場合の発生の可能性として6月末の可能性も否定できないことを報告していました。しかし前兆変動終息時期から6月末発生では経験則と調和しないことが明らかとなり、前兆変動関係を見直しました。明確に終息している観測装置も多々あり、見直した結果、9月の可能性も出ましたが、最も早い場合7月24日±2の可能性が否定できません。上図1右下記の前兆変動終息推定時期に実際に前兆変動が終息するか観測を続け、現在の推定が正しいか否かを確認したいと思います。続報します。